

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会

# MISA 令和 2 年度新入社員研修（募集のご案内）

**※申込受付開始日 令和元年 12 月 17 日**

今般、協会主催にて新入社員研修を開催いたします。

システムエンジニアに必携の基盤技術の基礎を習得し、業務アプリケーション開発演習を通じて新入社員の開発実装力の養成と技術思考スキルの向上を図るとともに、社会人として必要な基本動作、各種ビジネススキルやコミュニケーション力等の習得を通じ、新入社員の総合的な実務基礎力の養成と社会人意識の定着を図ります。

令和 2 年度は、新入社員が各社 OJT や実際の開発業務へスムーズに移行できるよう、開発基礎力の習得・定着を重視したカリキュラム改訂を行い、日数・内容ともに充実を図っております。

ぜひ、この機会にご活用ください。

## 記

- 主 催**：一般社団法人宮城県情報サービス産業協会
- 対 象**：令和 2 年度採用の新入社員 ※MISA 会員・非会員、出身学部等は問いません。
- 研修期間**：令和 2 年 4 月 2 日(木)～6 月 23 日(火) 計 55 日間 各日 9:30～17:30  
※日程の詳細、内容は別紙カリキュラムをご参照ください。  
※コース単位の一部参加をご希望の場合は、ご相談ください。

### <参考>一部参加の場合のコース区分

コース区分	日程
① ビジネス基盤養成	4/2(木)～4/13(月) 8 日間
② システム開発技術者育成	4/14(火)～6/2(火) 32 日間
③ 業務システム開発プロジェクト演習	6/3(水)～6/23(火) 15 日間

- 受講料 (55 日間、1 人あたり)：**  
MISA 会員企業 (正会員・賛助会員・特別会員) 605,000 円  
会員外企業 726,000 円  
※いずれも、消費税・資料代を含みます。  
※コース単位の一部参加をご希望の場合は、ご相談ください。

- 定 員**：50 名

- コース再編について：**

新入社員が各社 OJT や実際の開発業務へスムーズに移行できるよう、開発基礎力の習得・定着を重視したカリキュラム改訂を行い、日数・内容ともに充実を図っております。カリキュラム詳細は別紙をご参照ください。

- 会場 (予定)：**

仙台市中小企業活性化センター セミナールーム(仙台市青葉区中央 1-3-1 AER 6 階)

(裏面へ続きます)

## 8. 申込方法および募集期間：

下記受付期間に、別紙申込書を MISA 事務局までメールまたは FAX でお送りください。

**申込受付期間：令和元年 12 月 17 日（火）10 時 ～ 令和 2 年 1 月 24 日（金）17 時**

※上記期間外に送付いただいた申込書は無効とさせていただきます。

※定員に達した場合は早期に締め切ります。

※締切日の時点で定員に空きがある場合、2次募集(2月中を予定)を行う場合があります。

## 9. お問い合わせ先：

◆研修内容に関すること；(公財)仙台市産業振興事業団 及川（人財委員会新人研修担当）

TEL； 022-724-1125 e-mail； itsuishin@siip.city.sendai.jp

◆申込、受講料に関すること； MISA 事務局

TEL； 022-217-3023 FAX；022-217-3055 e-mail； misa@misa.or.jp

### [添付別紙]

別紙1： MISA 新入社員研修の基本体系

別紙4： 新入社員研修申込書

別紙2： MISA 新入社員研修・カリキュラム

別紙5： フォローアップ研修内容【参考】

別紙3： 申込にあたっての留意事項

別紙6： 宮城県委託「新卒者等未経験者向け新人研修」について【予告】

### 「人材開発支援助成金(旧キャリア形成促進助成金)」など助成金活用をご検討ください！

※ MISA 新入社員研修は、宮城県の認定職業訓練です。

※ 活用にあたっては、各社で事前に直接、各都道府県の労働局へ照会・ご相談をお願いします。

◆ 人材開発支援助成金（旧キャリア形成促進助成金）について（厚生労働省 Web ページ）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)

以上

# MISA新入社員研修の基本体系

## <育成人材像> MISA 企業の中核となり、将来を担うシステムエンジニアの育成

### ① コミュニケーション

コミュニケーション力を発揮しながら、課題解決へ向けた具体的な行動の取れる人材  
(プレゼン、論理思考、情報活用)

### ② システム化思考力 (業務応用力)

システムの構想から開発までのプロセスを理解し、顧客目線も交えてシステム化思考できる人材  
(SE業務プロセスの実体験、品質、納期など)

### ③ 技術の本質的理解

プログラムの動作原理 (ロジック) を理解しシステム開発において応用できる人材  
(アルゴリズム、DB、MVC モデル)

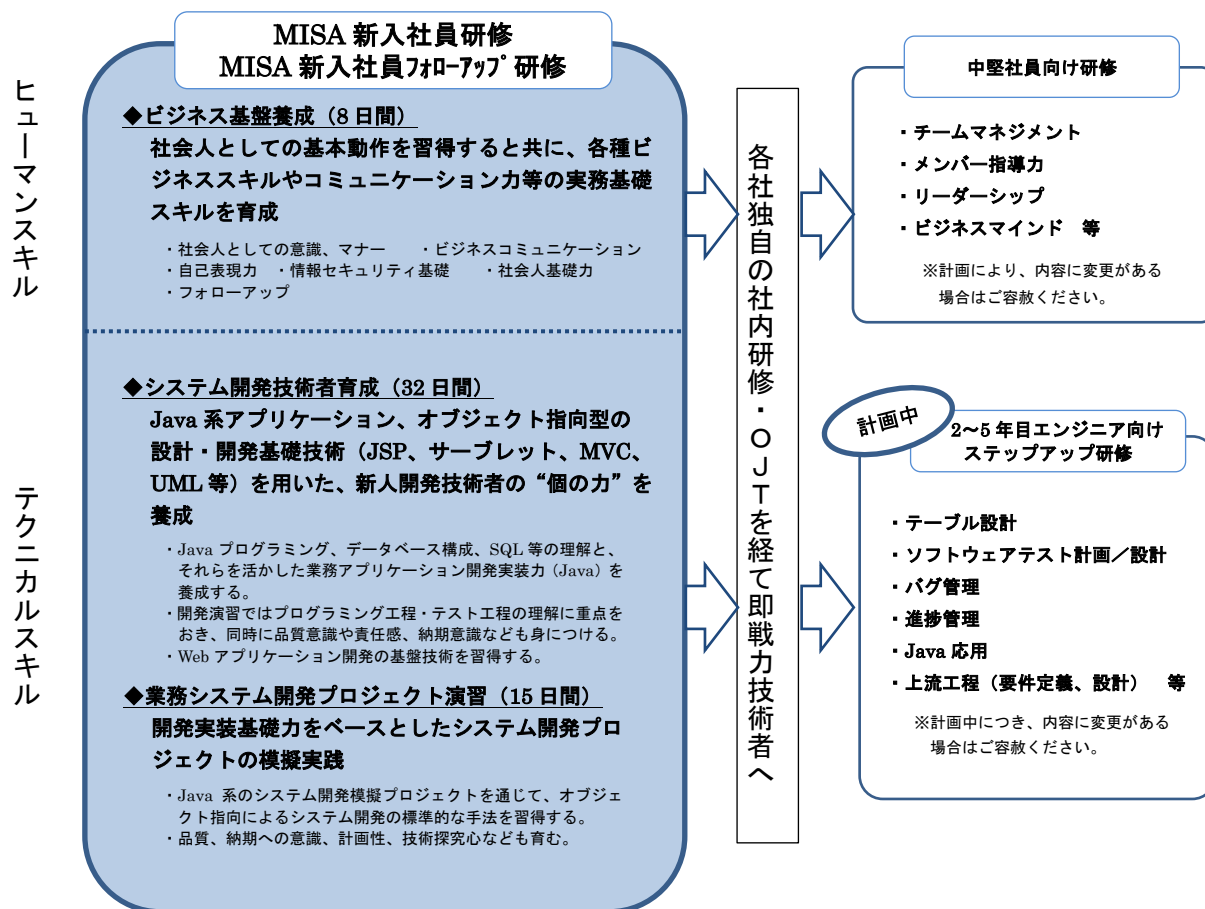
### ④ 自発性・意欲

自らの仕事の意味をしっかりと理解し、自発的に勉強し、考え、活躍しようとする人材  
(自学の習慣づけ、技術を自ら追求する癖)

## <研修体系イメージ>

1 年目 (新入社員)

2 年目以降 (若手～中堅社員)



令和 02 年度 MISA 新入社員研修 カリキュラム

① ビジネス基盤養成 (8 日間) 4/2 (木) ~4/13 (月) 各日 9:30~17:30

**コースの目的・狙い:**

社会人としての基本動作を習得すると共に、MISA 訓練ならではの特色であるビジネスの実践の場で要求される各種ビジネススキルやコミュニケーション力等の実務基礎スキルを育成します。

**対象・前提条件:**

令和 2 年度の新入社員

**育成・到達目標:**

1. ビジスマナーの基本動作ができる。(挨拶、言葉遣い、接客・電話応対、身だしなみ、名刺交換等)
2. 組織で働く上での基本動作ができる。  
(ビジネス文書作成、報連相、効率性/正確性、PDCA、情報セキュリティ等)
3. 協調性・柔軟性を持った組織内・外コミュニケーションが実践できる。  
(チームワーク形成、ミーティング、職場の人間関係形成、接遇等)
4. 主体性・積極性を持った応用コミュニケーションが実践できる。  
(論理思考、プレゼンテーション、積極的傾聴等)
5. ビジネスコミュニケーション力を駆使し、実際の現場で即戦力となるビジネス活動ができる。

**カリキュラム:**

科目・日程	概要	講師
<p><b>開講式</b> 4/2 (木) 9:20~ 開講挨拶、及びオリエンテーション</p>		
<p><b>ビジスマナー&amp;コミュニケーション</b> (3 日間) 4/2 (木) ~4/6 (月)</p>	<p><b>ビジスマナー、コミュニケーション基礎</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会人必須の各種マナーをはじめ、指示の受け方、報告の仕方、言葉遣い、接客・電話応対、接遇など現場で必須となる基本行動・コミュニケーション力について、社会人としての意識や人間関係・信頼関係の構築も交えて学習。</li> <li>・ ロールプレイング等を中心とした内容により、着実な定着と職場での実践につなげる。</li> </ul>	<p>キャリアトーク 志伯 暁子 (仙台市)</p>
<p><b>ビジネスコミュニケーション&amp;プレゼンテーション</b> (2 日間) Aクラス ; 4/7 (火) ~4/8 (水) ※プレゼン実習 4/8(水) Bクラス ; 4/9 (木) ~4/10 (金) ※プレゼン実習 4/10(金)</p>	<p><b>ビジネスコミュニケーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事の進み方とその中でのコミュニケーションの役割や重要性を学び、必要となる顧客対応力 (ヒアリング、e-mail、コンプライアンスなど) に関する応用的なコミュニケーション力を養う。</li> </ul> <p><b>論理思考、プレゼンテーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロジカルな思考力の鍛錬や相手に説明するためのシナリオ構成の仕方、プレゼンテーションのスキルについて学習。</li> </ul>	<p>マネジメントテクノロジーズ, LLC 尾田 友志 (東京都)</p>

<b>ヒューマンスキル&amp; ビジネス文書作成</b> (2日間) Aクラス； 4/9(木)～4/10(金) Bクラス； 4/7(火)～4/8(水)	<b>仕事とチームワーク、ビジネス文書</b> ・仕事への取組意識、対人折衝、チームワークなど社会人必須のヒューマンスキルに関して、グループでの演習を交えながら実践的に学習。 ・社内外で必要となる文書作成の基本から、議事録・報告書の作成など文書作成を幅広く学習。	ホライズンコンサルティンググループ(株) 庄司 和弘 (仙台市)
<b>情報セキュリティ基礎</b> (1日間) 4/13(月)	<b>情報セキュリティ基礎</b> ・一般的な業務に潜む情報セキュリティ上のリスク(情報の保管、記憶媒体の管理、e-mailの利用、個人情報保護など)を想定し、その対策について学習。	ホライズンコンサルティンググループ(株) 庄司 和弘 (仙台市)

- ※ 4/2～4/6および4/13は1クラスにて実施、4/7～10は2クラスに分割して実施します。
- ※ 所属クラスは原則として企業単位で配分させていただきます。
- ※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。

**② システム開発技術者育成 (32日間) 4/14(火)～6/2(火) 各日9:30～17:30**

**講師:** (株) JC-21 教育センター 山田 洋 (仙台市) ほか、サブ講師を予定

<b>コースの目的・狙い:</b> アプリケーション開発に不可欠な情報処理の基礎技術と開発実装力を養います。Javaによるプログラミング力の育成とデータベース構成やSQL、サーバサイド技術の基礎を理解するとともに、MVCモデルを用いた業務アプリケーションの開発演習を通じ、開発現場における実務的な留意点や品質意識、納期意識なども同時に学びながら、実装・テストのスキルについて理解を深めます。開発演習は個人単位で行い、参加者個々が着実に開発実装力を高めることを狙いとしています。
<b>対象・前提条件:</b> プログラマーやシステム開発技術者に必要なIT基礎知識や開発実装力の育成をしたい企業(事前のプログラミング経験の有無は問いません。)
<b>育成・到達目標:</b> 1. プログラミングに必要な論理的思考力を習得する。 2. Javaの言語仕様、プログラムの基本原理を理解し、実装できる。 3. 業務系システムの必須技術であるデータベースの基本技術を理解し実装できる。 4. Webアプリケーション開発に必要な実践技術(JSP、サーブレット、MVCモデル等)を理解する。 5. 例外処理、バグなど開発現場における必須の留意点を同時に学び、ソフトウェアの品質意識を持つ。

カリキュラム：

科目・日程	概要
<b>システム開発プロセスと開発基礎知識</b> 4/14 (火)～4/20 (月) (5日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT 技術者に求められる資質のほか、システム開発における各工程（要求分析、要件定義、設計、コーディング、テスト、納品）の概要と留意点を学習する。</li> <li>コンピュータシステム基礎および周辺知識、アルゴリズム基礎を学習する。</li> </ul>
<b>オブジェクト指向開発モデル/Java プログラミング</b> 4/21 (火)～5/7 (木) (9日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム分析・設計の開発モデルを理解する。</li> <li>UML による要求のモデリング、ユースケース図等のシステム分析や設計の基本的なパターンを学習する。</li> <li>Java の特徴やデータ型、基本構文（条件分岐、繰り返し、演算子）、クラスやメソッド、オブジェクトを学習し、プログラミング基礎力の定着を図る。</li> <li>クラスの継承や多態性、カプセル化などオブジェクト指向の概念に触れながら学習する。</li> </ul>
<b>業務アプリケーションプログラミング演習①</b> 5/8 (金)～5/14 (木) (5日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Java アプリケーション開発演習を行い、実装力を育成する。</li> <li>講師提示の課題（設計書、テスト仕様書）に基づき、プログラミング工程とテスト工程の演習を通して、業務アプリケーション開発について理解を深める。</li> </ul>
<b>RDB 入門と SQL 言語</b> 5/15 (金)～5/20 (水) (4日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>データベースシステムの概要、SQL 言語を学習。</li> <li>データベースの構造や ER 図による整合性のあるデータベース設計、SQL を使ったデータベース操作などを学習し、業務アプリケーション開発の基盤を形成する。</li> </ul>
<b>業務アプリケーションプログラミング演習②</b> 5/21 (木) (1日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「業務アプリケーションプログラミング演習①」で作成したアプリケーションを、ファイル操作を RDB に変えることで永続性を加える。</li> </ul>
<b>サーバサイドプログラミング</b> 5/22 (金)～5/28 (木) (5日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信プロトコル、HTML や HTTP といった背景/関連技術の要点を交え、総合的な技術の吸収を狙いとする。</li> <li>サーバサイド技術である JSP/Servlet を学習し、Web アプリケーション開発力を支える基盤技術として吸収する。</li> <li>MVC モデル設計について学習し、課題演習のシステム設計へとつなげる。</li> </ul>
<b>業務アプリケーションプログラミング演習③</b> 5/29 (金) (1日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「業務アプリケーションプログラミング演習」①および②で作成したアプリケーションにおいて、View および Controller をそれぞれ HTML、JSP、Servlet に変換し、アプリケーションを完成させる。</li> </ul>
<b>ソフトウェアテスト技法</b> 6/1 (月)～6/2 (火) (2日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムやソフトウェアの開発プロセスにおけるテストの位置づけを理解し、品質の重要性を理解する。</li> <li>品質を保証するためのテストケースを作成するための基本技法を学習する。</li> </ul>

※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。

※ プログラム実習はフレームワークを利用し Windows 上で実施。DB は汎用性の高い MySQL を利用。

※ 講義演習中に小テスト等を行い、受講者の理解度等をこまめに把握しながら進行します。





## 業務システム開発プロジェクト演習 (15日間)

6/3 (水) ~6/23 (火) 各日 9:30~17:30

講師：(株) JC-21 教育センター 山田 洋 (仙台市) ほか、サブ講師を予定

### コースの目的・狙い：

オブジェクト指向を用いたシステム開発の設計・実装力を養成します。全コースまでに習得した Java、SQL、サーバサイド技術、MVC モデルの概念等の要素技術の定着を中心としながら、PBL (Project Based Learning) による Java 系 Web システム開発模擬演習を通して、システムの設計から実装、テストまで一連の開発工程に対する理解を深めます。

開発演習では、IT 企業の要望の高いコミュニケーション力やチームワーク、主体性、計画力、実行力、要求の分析やユーザ視点など、開発現場で要求される人間力も同時に養うことができます。

### 対象・前提条件：

開発工程一連の理解と、設計・実装力の育成を重視する企業

(「②システム開発技術者育成」相当のスキルがあることを前提としています。同コース未受講の方でも参加できますが、その場合は Java プログラミング、JDBC、データベース、サーバサイド技術等について事前に社内教育等で習得していることが参加条件となります。)

### 育成・到達目標：

1. Java 系の模擬 IT システム開発プロジェクトの実践を通じて、オブジェクト指向によるシステム開発の標準的な手法や流れを理解する。
2. 与えられた要件定義書を基に、必要な機能の分析を行い、設計、コーディング、テストを実践する。
3. 定期的に要件の確認、レビューを行い、SE として必要な基本動作・コミュニケーション能力を実践できる。
4. 例外処理、バグなど開発現場における必須の留意点を同時に学び、ソフトウェアの品質意識を持つ。
5. チームでのプロジェクト推進の実体験を通じて、リーダーシップやコミュニケーション、主体性や計画力、納期を意識した行動を現場で実践できる。

### カリキュラム：

#### 業務システム開発 プロジェクト演習

6/3 (水) ~6/23 (火)  
(12日間)

※参観：中間レビュー  
最終プレゼン (予定)

・Java 系業務システムを題材に、講師提示の課題 (要件定義書) に基づき、チームにて設計、開発、テストまでの Web アプリケーション開発プロジェクトの流れを実践する。

・他社参加者との混合チームを編成し、顧客・上司の役割を兼ねる講師の指導を受けながら、開発プロジェクト遂行の疑似体験を通じて開発総合力を演習主体で養成する。

コース修了式 6/23 (火) 17:30~ 修了挨拶、及び修了証配布

※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。

※ プログラム実習はフレームワークを利用し Windows 上で実施。DB は汎用性の高い MySQL を利用。

## その他、補足情報

### 【受講者交流会の開催について】

研修同期の交流や刺激の享受、研修後の継続的なネットワーク作りを目的として開催します。

受講者交流会Ⅰ 4/3（金）18：00～20：00 頃（予定）

受講者交流会Ⅱ 4/15（水）18：00～20：00 頃（予定）

- ・ともに、会場は仙台市中小企業活性化センター内を予定しています。
- ・飲食費用は当協会が負担します。
- ・当交流会の受講者参加は任意です。出欠は別途確認させていただきます。
- ・アルコール飲料を出しますので、未成年者の方は参加できません。
- ・詳細は、受講者確定後に各企業ご担当者様へお知らせいたします。

### 【企業関係者の参観について①】

「ビジネス基盤養成」におけるプレゼンテーション実習では、受講者各々がテーマに沿ったプレゼンを行い、講師の指導を受ける様子をご参観いただけます。

日時； Aクラス：4/8（水）、Bクラス：4/10（金）それぞれ午後を予定  
会場； 仙台市中小企業活性化センター内

- ・当実習の参観は任意です。
- ・時間は午後半日を想定していますが、受講人数により開始時刻が決定しますので、4/3 頃にスケジュール、プレゼンテーマ、参観案内を各企業ご担当者様へお知らせいたします。

### 【企業関係者の参観について②】

「業務システム開発プロジェクト演習」では、設計のレビューおよび最終日の成果発表会を企業関係者の参観機会として予定しております。  
詳細は後日お知らせいたします。



**令和2年度 MISA 新入社員研修 申込に当たっての留意事項**  
**※ 重要・申込の前に必ずお読みください ※**

**【申込にあたっての注意事項】**

**① 申込受付期間**

申込受付期間は令和元年12月17日(火)10時～令和2年1月24日(金)17時です。この前後での受付はできかねます。なお、定員に達した場合は早期に締め切ります。受講者が確定しない場合など、受講人数枠での申込みをご希望される場合はMISA事務局に別途ご相談ください。

**② 一部受講を希望される場合**

原則として全日程受講での受付となりますが、コース単位の一部参加をご希望の場合は、MISA事務局にご相談ください。なお、コース区分は「募集のご案内」および「別紙2:新入社員研修カリキュラム」をご参照ください。

**③ 受講料のお支払い**

受講確定後、MISA事務局より請求書と受講案内をお送りいたしますので、指定期日までに振込をお願いいたします。請求書発行後のキャンセルは一切できませんので予めご了承ください。

**④ 事前スキル調査**

受講者の属性や技術経験等に関する事前アンケートを2～3月に実施します。アンケートフォーマットは原則メールにてお申込窓口ご担当者様へお送りいたします。調査の結果は研修運営やグループ分け等の参考にしますので、指定の期日(3月中旬～下旬を予定)までにご提出ください。事情により期日に間に合わない場合はご相談ください。

**⑤ 修了要件について**

本研修の修了要件はコース毎に出席率80%以上となります。

**⑥ 別紙5:「新入社員フォローアップ研修」について(事前調査)**

参加を予定される場合は申込用紙に「○」を記入してください(受講義務は発生しません)。本募集の際、定員を超える申込みがあった際に優先的に参加できます。

**⑦ 別紙6:宮城県委託「新卒者等未経験者向け新人研修」について(予告)**

正式なご案内は宮城県・MISA間の契約成立後となります。受講者は非情報系出身者限定、また、「MISA新入社員研修」受講確定後の「新卒者等未経験者向け新人研修」への振替は不可となりますので、各研修のお申込にあたっては十分ご注意くださいようお願いいたします。

以 上

宮城県情報サービス産業協会 事務局 御中  
 Fax: 022-217-3055 E-mail: misa@misa.or.jp

## 「MISA 新入社員研修」申込書

※申込受付開始 令和元年12月17日10時～

貴社名			
貴社住所	(〒 - )		
申込担当者名		所属・役職	
TEL		E-mail	

参加者欄			
参加者氏名	(フリガナ)	フォローアップ 研修 (事前調査、 ○記入)	
1			
2			
3			
4			
5			
特記事項 (一部のみ参加の要望など)			
【アンケート】 助成金の利用を予定している場合は助成金名をお知らせください。		(例: 人材開発支援助成金「認定実習併用職業訓練」)	

### 【一部参加の場合のコース区分】

コース区分	日程
① ビジネス基盤養成	2020年4月2日～4月13日
② システム開発技術者育成	2020年4月14日～6月2日
③ 業務システム開発プロジェクト演習	2020年6月3日～6月23日

### 【事前調査コース】

コース	日程	コース名
	2020年8月26日～27日(予定)	新入社員フォローアップ研修

※「フォローアップ研修」の欄は事前調査を目的としています。新入社員研修の申込時点で受講を予定される場合に「○」をつけていただければ、正式募集時に定員超過となった場合に優先的に参加できます。なお、本調査の回答による受講義務は発生しません。後日、正式な募集案内を発行しますので、申込書のご返送後、正式受付といたします。

※研修運営に必要な連絡は原則メールで行いますので、担当者メールアドレスは必ずご記入ください。

※5名以上の申込の際は本用紙を複写してご利用ください。

※受講者の個人情報に関してはMISA事務局での保管となり、MISAの個人情報保護規定に基づき運用いたします。目的外使用は致しません。



[別紙5:参考]

## 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 新入社員フォローアップ研修内容（参考）

### ◆研修目的：

平成31年度採用の新入社員を対象に、新入社員研修とその後の実務、あるいはOJT／社内教育を踏まえてフォローアップを行い、会社からの期待に応えられる人材になるための主体的な実行力や自己成長力の向上とプロ意識の確立、対人能力やビジネス思考力のアップを図ります。

また、入社から数ヶ月程の期間が過ぎた中で、同世代の異なる企業の受講者間での交流を深め、刺激を享受し、社外人的ネットワークの形成、今後の成長の糧となることも目的としております。

**受講対象者：**令和2年度採用の新入社員

※業種、所属部門等は問いません。

※MISA 新入社員研修の受講有無や、MISA 会員・非会員は問いません。

(新人研修申込時の事前調査欄に「○」をつけた方は優先的に受け付けます)

**日 時：**2020年8月26日(水)～27日(木) (2日間) 9:30～17:00

**会 場：**仙台市中小企業活性化センターセミナールーム ※予定

**受 講 料：**MISA 会員:22,000 円／非会員:27,500 円 (いずれも税、テキスト代込み)

**定 員：**40 名

**お 申 込：**後日、一般参加者も対象とした募集案内の通知を行います。

### ◆予定カリキュラム（全て演習中心）：

研 修 名	内 容
<b>1. ビジネスマナー&amp;コミュニケーション応用</b> (志伯講師) 8月26日(水) 9:30～17:00(6.5時間)	<b>ビジネスマナーの振り返りと応用</b> ・挨拶、名刺交換、敬語、立ち振る舞い、言葉づかいや表現の仕方、電話応対など (ロールプレイング中心)  <b>ビジネスの現場でのコミュニケーション</b> ・プロの電話応対、真・報連相、相手に合わせて効果的に伝えるスキル、相手を動かす話のまとめ方、スピーチ術、自己理解・他者理解 など (ロールプレイング中心)
<b>2. ビジネススキル&amp;社会人基礎力</b> (庄司講師) 8月27日(木) 9:30～17:00(6.5時間)	<b>周りからの期待に応えるための必要スキルと社会人基礎力</b> ・実力ビジネスパーソンに期待される能力 ・現状の社会人基礎力の自己検証と評価、今後の行動目標設定 ・主体的キャリア形成と自己能力開発ポイント ・自己管理の手法 など

※研修の進捗や受講予定者の状況等により内容や時間配分等を予告なく変更する場合があります。

※1日目終了後、希望者による交流会を開催予定(別会費制)。

<講師> (※4月実施のMISA 新人研修「ビジネス基盤養成コース」の講師が担当)

1. 志伯 暁子 氏 (キャリアトーク 代表/仙台市)

2. 庄司 和弘 氏 (ホライズンコンサルティンググループ(株) 代表取締役/仙台市)



[別紙6: 予告]

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会  
宮城県委託  
2020年度「新卒者等未経験者向け新人研修」  
の開催について（予告）

MISA では、非情報系からの IT 業界への就職促進を目的とした「新卒者等未経験者向け地域高度 IT 技術者育成業務」を宮城県から受託し、非情報系出身者を対象とした新人研修を開催する予定です。正式決定は宮城県・MISA 間での契約成立後となり、詳細のご案内は2月末～3月初旬頃となる見込みです。

宮城県委託事業による新人研修の受講対象は**非情報系出身者限定**、また、MISA 非会員を含む幅広い企業に新人研修の受講機会を提供する観点から、「**MISA 新入社員研修**」**受講決定後の宮城県委託事業の新人研修への受講振替は不可**となりますので、各研修のお申込にあたっては十分ご注意くださいようお願いいたします。

現時点で予定されている開催要項は下記の通りです。

◆研修概要

本研修は文系・非情報系出身者の地元 IT 企業への就職促進を図るための宮城県の施策として開催するものです。人材採用・育成余力に乏しい地域 IT 企業が非情報系の人材を積極採用できる環境を整えることが目的です。

◆カリキュラム

- ・2020年度の開始は4月2日（木）から(合計約40日間程度)を計画
  - ・ビジネス基礎
  - ・コンピュータ基礎
  - ・Java 言語
  - ・サーバサイド Java
  - ・システム開発実習

◆受講条件

- ・受講企業は MISA 会員の有無を問わず。
- ・受講対象は非情報系出身者に限定（情報処理を専門とする学科以外の出身者であること）
- ・受講後の職場定着が委託事業の成果指標となるため、受講後に実施する追跡ヒアリング調査へのご協力が必須となります。
- ・MISA 人財委員会が開催する認定職業訓練新人研修（MISA 新人研修）の受講決定者については、宮城県委託研修募集開始後の受講振替は不可。

◆その他

- ・詳細のご案内・申込受付は宮城県との契約成立後となります。  
(2月末～3月初旬頃の見込)

※宮城県委託「新卒者等未経験者向け地域高度 IT 技術者育成業務（文系・非情報系出身者限定新人研修）」に関するお問い合わせは、MISA 事務局までお願いいたします。

<お問合せ先>

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会（MISA） 事務局  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台5F  
TEL ; 022-217-3023 e-mail ; misa@misa.or.jp